

柳悦 やなぎ えつ 數學者、水産學者、歌人。天保二年九月江戸津藩邸生れ、明治二十四年一月十四日歿（八三一九）。通稱芳太郎、萬次郎、惣五郎。號練理。長崎海軍傳習所に入り、オランダ士官から測量、數學、航海術を學ぶ。歸藩後、伊勢灣の測量を行ふ。明治二年兵部省より南海測量を命ぜられ、のち北海、琉球全島の測量にも従事。十年東京數學會社を創り。十二年海軍少將となり、海軍省の水路部を創設、初代部長。元老院議員、貴族院議員。民藝研究家柳京悦の父。

遺著 『山陰落葉』（明治二十九年十一月）二十八年御木本幸吉編輯）、『野葉打歌集』（尾上八郎撰、今村千枝子・柳京悦編、大正七年一月十四日柳悦多刊）。

